

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2010年7月
第4号
(年2回発行)

お盆号

発行部数3千部



「落慶法要・晋山式を迎えて」

／丹羽義昭新命住職インタビュー

シリーズ浄土宗／施餓鬼会とは…

実践教室／お香の意味と焼香の作法

仏事相談／仏壇を置く場所と方位は？

西願寺 本堂・客殿・寺務所・庫裏落慶式／第三十二世念譽義昭晋山式



去る平成二十二年五月一日 晴天に恵まれたこの日、西願寺本堂・客殿・寺務所・庫裏落慶式及び西願寺第三十二世 丹羽義昭師晋山式が執り行われました。副住職から住職へとなられた丹羽義昭住職にお話を伺いました。

問 この度は、おめでとうございます。すばらしい本堂が完成され、お檀家の方々を始め皆さん喜んでいらつしやるのではないですか？

住職 そうですね。今回、本堂、庫裏を造るにあたって、バリアフリーになるようにと設計をこだわりました。以前の本堂は段差があり本堂に上がるの

にご不便をおかけしたのですが、新しい本堂ではリフトを設置し車椅子のままでも本堂に上がれるようにしたのです。それから内陣と外陣の段差もなくして法要などの際、私たち僧侶も動きやすいように造ったんですよ。

問 バリアフリーになると今まで本堂での法要や行事の参加に躊躇していらした方も来やすくなると思います。以前に話してくださった、これからのお寺で催す行事への思いが募りますね。

住職 はい。落語はもちろん、節分やコンサート…多くの皆さんが集える場所にしていきたいと思っています。

問 本堂の再建事業というのは、どのくらいの年月がかかったのですか？

住職 以前の本堂は昭和四十三年に火





事で消失した後に急いで建てた鉄筋で造られたものだったので、前住職は早くから、今回のような寺院らしい本堂の建立を望んでいました。実際に再建事業として動きだしたのは平成十七年くらいからですから完成までに五年がかりました。

問 柱の一本一本や細部の彫刻なども宮大工さんの技術が光りますね。とても見応えがありました。お寺にいらした際には是非、皆さんにも隅々まで見ていただくと思います。

問 落慶式、晋山式では大本山増上寺の第八十八世八木李生台下



もいらっしゃったのですね。ところで、晋山式と聞いてもどのようなことなのか分からない方もいらっしゃると思うのですが。

住職 そうかもしれませんね。晋山式とは、そのお寺の住職の世代交代の為の儀式です。前住職から伝衣・過去帳・弘子を授かり法灯を受け継いでいくことなのです。法灯というのは、受け継がれ絶えることのない仏の教えのことです。

問 ご住職のお父様である丹羽尊照前住職は、昭和五十二年に西願寺の第三十一世となられて以来三十三年、法灯を受け継ぐと共にお寺の護持発展の為に尽力され、この度、丹羽義昭ご住職が新たに第三十二世となられ、その歴史と仏法はまたこの後もずっと続いていくということですね。

住職 そうです。西願寺は、元和元年（一六一五）に開山されたお寺ですので受け継がれてきた歴史は三百九十五年になります。

問 あと五年で四百年に届くのですね。改めて考えると本当に永い年月ですが、毎日の積み重ねで出来た歴史なので落慶法要・晋山式の日もお寺の歴史の中の一日になるのですね。ご住職の言っていらした、これから先の西願寺の益々の発展も楽しみです。本日はありがとうございました。



施餓鬼会とは

毎年お盆の頃に営まれる施餓鬼会では、施餓鬼棚に「三界万霊牌」や初盆の戒名を記した位牌を置き、浄水や食物を供え五如来の「施餓鬼幡」を立てて法要を営むのが慣わしです。

お盆の由来は目連尊者の古事で、施餓鬼は阿難尊者と餓鬼の話しが由来となります。二つの話がよく似ていることや、盂蘭盆会に施餓鬼供養を営む寺院も多いことから、お盆と施餓鬼会を同じものと思われる方もいるようです。では、施餓鬼会はどのような法要なのでしょう。



施餓鬼棚



散華で巻かれる
華葩(けは)



施餓鬼会法要時
散華の様子

施餓鬼の由来

施餓鬼会の始まりは「仏説救拔焰口餓鬼陀羅尼經」というお経に説かれた阿難尊者の話に由来しています。

お釈迦さまの十大弟子の中で阿難尊者は誰よりもお釈迦さまの話を多く聞いたことから、多聞第一といわれていました。ある夜、阿難尊者が瞑想をしていると、焰口という餓鬼が現れてこう告げました。「お前は、三日後に死に、来世は餓鬼に生まれ変わるであろう」その苦から逃れられる方法を聞く阿難に餓鬼は「明日中に餓鬼道に住む何千万という餓鬼のために飲み物や食べ物を用意し、仏法僧に供養せよ。そうすれば、わたしをはじめ多くの餓鬼が救われ天界に生まれ変わることができる。お前も餓鬼道におちる苦から逃れ、寿命も延びるだろう」といったのです。翌日、阿難尊者はお釈迦さまに相談に行き、その教えに従い餓鬼のために飲食を施し、供養の法要を営みました。この功德により餓鬼は餓鬼世界の苦しみから救われ阿難尊者も災難を逃れ命も延びました。

この故事がお施餓鬼の由来となり、施餓鬼会では、先祖追福のため、また一切の生物の霊を慰め合わせて自分自身の福德延寿を願い法要が営まれます。

焼香の意味と作法



法事や葬儀の際、参列者は焼香をしますが、これはその香氣によって仏前を清めるという意味があります。

焼香には、「抹香」を焚くものと「線香」をあげるものがありますが、葬儀や法要の焼香には、数種類の香木を刻んで調合した抹香が使われる場合が殆んどです。日常使われる線香は長持ちすることからお墓参りなどで使われるようになった略式のものといわれています。

焼香の作法

焼香の作法は、宗派によって多少異なります。

浄土宗では、導師から合図があったら、喪主から血縁の順番に知人、一般会葬者と焼香を行います。



①数珠を左手に持ち祭壇の前に進み、僧侶に一礼、仏前に合掌礼拝します。



②抹香を右手の親指と人差し指で軽くつまむ。



③左手をそえて、抹香を額の前に軽くささげる。



④香炉に入れる。3回焼香をするときには、②～④を繰り返す。



⑤もう一度、仏前に合掌礼拝し、僧侶に一礼し席に戻る。

暮らしの中の 仏教語

「じゃんけん」

「じゃ～んけん・ぽん！」子どもに限らず、何かを決めるときによく使われる簡単な遊びの掛け声ですが、実はこのじゃんけんぽん、じゃんけんはいと云い仏教の言葉「料簡法意(らんけんほうい)」からきたとも言われています。料簡は一般にりょうけんと読み、考えをめぐらすことを意味しています。法意は法の心、仏さまの意思を説かれた教えのことです。つまり料簡法意は法の意思を正しく思案するという意味なのです。私意にとらわれず何かを決定するときにこれを用いる。そう考えるとジャンケンもなかなか奥の深い遊びのようですね。



焼香の回数

回数で迷うことがありますが、これではダメという決まりはなく会葬者の人数など状況に応じて行うのがよいのではないのでしょうか。三回行うのは、仏・法・僧の三宝に供養するという意味からきています。しかし、仏前で心身を清浄にすると考えれば心をこめて一心に行う一回でも構いません。

■西願寺大施餓鬼会法要のご案内■

日時 平成22年8月18日（水）

13時／余興（落語）

14時／法要

場所 西願寺本堂

施餓鬼会は、年に一度の大供養法要です。万障お繰り合わせの上、ご出席ご参詣いただき御仏前にご焼香供養ください。



※当日の余興では、三遊亭春馬師匠の落語があります。お題は来てからのお楽しみ！

■西願寺落慶法要報告■

さる5月1日西願寺落慶式が執り行われました。

新しい本堂の前に並ぶ可愛らしい稚児姿のあずま幼稚園の園児たちが式の厳かな雰囲気華を添えていました。



本堂内陣

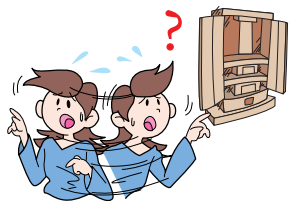


仏事相談

家を引越しましたが、新しい家には、和室がありません。仏壇を置く場所や方角、向きはどうしたらいいのでしょうか？

お仏壇をどこに安置するか、また、どちらに向ければ良いのかに特に決まりはありません。お仏壇は、毎日手を合わせ心の拠りどころとなるところです。安置するのは、家族にとって身近な場所、手を合わせやすい所であれば和室にこだわる必要はないと思います。

さまざまな住宅事情でタンスやサイドボードの上にお仏壇を安置していらっしゃるお宅もあります。ただ、そのような場合でもテレビの上にも置いたり、お仏壇の上にものを置くようなことはしないようにしましょう。



掲 示 板

■盆踊りのお話し■

夏になると何処からか聞こえてくる盆踊りの祭りの賑わい…。もともと仏教と深いつながりのある盆踊りは、お釈迦さまの十大弟子の一人、目連尊者が餓鬼道に堕ちていた母を救うことが出来たことに感極まって踊ったということが起源になったとも言われています。

日本では、平安時代に空也上人によって始められた念仏踊りが鎌倉時代に一遍上人によって引き継がれていきます。室町時代には太鼓などの囃子ものを取り入れられ、現在のようない民謡を交えた娯楽的な踊りとなったのは江戸時代、また、盆踊りのやぐらは精霊棚の象徴とも考えられているそうです。



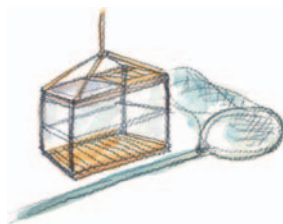
■永代供養塔のお知らせ■

西願寺・彩の都メモリアルパークでは、永代供養塔「光明苑」を建立いたしました。

詳しくは、彩の都メモリアルパーク管理事務所までお問合せください。



お問い合わせ…**048-921-4194**



■彩の都メモリアルパーク 霊園事務所定休日のお知らせ■

管理事務所定休日…毎週水曜
(水曜日が祝日の場合は翌日)

毎週水曜日は管理事務所の定休日となっております。事務手続き、電話問い合わせなどの業務は行えません。

墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にご参拝ください。

◆西願寺 今後の行事案内

- ◎7月13日(火)～16日(金)……………お盆会 (東京棚経)
- ◎8月13日(金)～16日(月)……………旧盆会 (地元棚経)
- ◎8月18日(水)……………大施餓鬼会
- ◎9月20日(月)～26日(日)……………秋の彼岸会

■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思えます。また、「さんか」についての感想もお待ちしております。

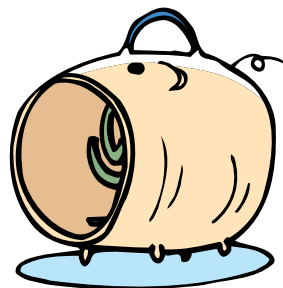
◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんが」編集部
東京都千代田区飯田橋四・七・十一

カクタス飯田橋ビル7F
FAX 03 (32695) 1392
Mail: info@io-co.net

■次号予告

次号は平成二十二年十二月発行予定の「新年号」です。



◆編集後記◆

日に日に陽射しが強くなり、いよいよ夏を迎える時期になりました。夏というと、朝顔市やおずき市、そしてお盆。一年の中でも季節を彩る行事が多いような気がします。

さて、今回の「さんが」もお盆号です。今回は、お盆の行事とは別のものなのですが、この時期に行われることが多い施餓鬼について掲載しました。記事の中にもあるように、二つの行事の由来となっているお話はとてもよく似ていて、どちらがどちらだったかつい間違えて覚えてしまいそうです。でも、由来を知って法要に参加するとまた味わいも深くなるのでは？ すべてが美しく整った新本堂で執り行われる、今年の西願寺の施餓鬼会が楽しみです。

発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三〇〇〇〇三三

埼玉県草加市遊馬町四二〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三三

FAX 〇四八一九二五一七七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三〇〇〇〇三三

埼玉県草加市遊馬町二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四二九五

企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部